

経済産業部

沖縄の中小企業の経営力
強化に向けて

Point

経営支援活動のあり方及び地域金融機関との連携について

関東地域等、他地域においては、地域金融機関及び中小企業支援機関（以下「地域金融機関等」）が連携した経営支援活動が、中小企業の経営力向上さらには地域活性化につながるとして、「金融連携プログラム」を策定し、地域密着型金融を強化する等、積極的に関係強化を図っています。

そこで、沖縄においても中小企業の価値向上を達成するための支援体制を強化していく目的で、以下のとおり「沖縄における中小企業の経営力強化に向けた経営支援活動のあり方及び地域金融機関との連携強化」について、調査研究を実施しました。

1 調査内容

本調査研究では、「金融連携プログラム研究会」や「先進地調査」を踏まえ、地域金融機関等が中小企業に対して提供している解決策とその課題、中小企業の支援ニーズ等を整理し、地域においてどのような中小企業の支援体制を構築すべきかを検討しました。

2 「金融連携プログラム検討研究会」

平成24年11月に創設された「おきなわ経営支援連携会議」の全面的な協力の下、地域金融機関等を構成員とする検討研究会を開催しました。毎回、45名を超える参加者があり、左記の各

テーマの第一人者（専門家）を迎えて熱く議論を深めました。

3 先進事例調査

地域金融機関等が密接に連携し、相乗効果を発揮している事例として、関東経済産業局、朝日信用金庫、巢鴨信用金庫、さがみはら産業創造センター、静岡県商工会連合会を訪問し、ヒアリ

【テーマ及びファシリテーター】

■ 第一回 『三ヶ日みかん成功の秘訣』

(株)フードランド 代表取締役 中村健二 氏

■ 第二回 『真のリレバン、真のビジネスコンサルティングとは』

富士市産業支援センター f-Biz センター長 小出宗昭 氏

■ 第三回 『原点に帰る』

広島市信用組合 理事長 山本明弘 氏

■ 第四回 『リレバンの本質』

アビームコンサルティング(株) 顧問 多胡秀人 氏

■ 第五回 『6次化とリレバン』

(株)アジアメディアプロモーション 代表取締役 渡邊竜一 氏

■ 第六回 『産官学金の取組事例』

山形大学大学院 教授 小野浩幸 氏

ングを行いました。

その結果、各支援機関の連携を強化することにより、「人材強化」、「支援のワンストップ化」が図られているという共通項が浮かび上がってきました。

4 「金融連携プログラム」の開催

本調査研究を踏まえ、沖縄の中小企業の経営力強化に向け地域金融機関等の連携のあり方に関する提言を発表するため、平成25

年3月21日に「沖縄金融連携フォーラム」を開催し、地域金融機関の経営陣を始めとする多くの方に聴講いただきました。



金融連携プログラム
検討研究会の様子



パネルディスカッションの様子

《フォーラム内容》

① 本調査研究の報告

「沖縄における中小企業経営力強化のための今後の金融連携の方向性について」
（一般財団法人南西地域産業活性化センター 客員研究員 佐藤仁哉氏）

② ゲスト講演

①「地域金融機関は本来の役割を果たせ！」
（アビームコンサルティング株式会社 顧問 多胡秀人氏）
②「山形大学における地域金融とのイノベーション創出」
（山形大学国際事業化研究センター 副センター長・同大学院教授 小野浩幸氏）

③ パネルディスカッション

佐藤氏をファシリテーターとして、「真の金融連携とは」というテーマで、公認会計士の山内氏、沖縄県商工会連合会支援課の川上氏、さらにゲスト講演いただいた多胡氏、小野氏も加わっていただきパネルディスカッションを行いました。これを契機に、地域金融機関等が更に連携・補完しあって、中小企業の経営力強化につなげていただくことを期待しています。